



# 別所憲法9条の会 たより

2022年11月第174号

安保法制廃止・憲法改悪許さない全国署名で対話を・敵基地攻撃許さない・9条守って戦争させない・

大気は冷ややかになり、落ちてくる葉がカラカラ音をたてはじめると、冬が近づいてきたなあと感じます。7日は早いもので『立冬』ですね。長池の刈り取られた稲は、「稲架掛け(はざかけ)」されていました。稲を逆さまに吊して天日干ししています。稲というか藁の匂いが辺りに漂い日差しの温もりを感じながら心地よい場所です。皆様はもう新米を口にされましたか？

イギリスでは大規模減税策発表が市場の混乱を招いたとして、リズ・トラス首相が在任50日で辞任し、若きリシ・スナク新首相が誕生しました。求心力低下での劇的辞任の展開に驚きと羨望さえ抱きます。片や国会審議では、山際大志郎経済再生担当相の旧統一教会との接点が次々と判明するも不誠実な対応を繰り返しました。事実上の更迭までに2か月余りも判断を先送りした決断力のなさばかり目立つ岸田首相は「任命責任は重く受け止めている」と虚しく人ごとのように語っています。

まだまだ協会との接点が発覚している他の政権幹部の身体も含め『旧統一教会と政治』問題にきっちりけじめをつけ、不信の払拭に取り組む政権であってほしいと願います。

## 11月のご案内

### 11月例会

日時 **11月26日(土) 13:30~16:00**

会場 長池公園自然館 レクチャールーム

内容 今回は講師を迎えます。楽しみにご参加ください

テーマ 「日本の軍備強化をどう考えるか？」

—ウクライナ戦争と国際情勢の新たな局面から—

講師 末浪靖司さん(ジャーナリスト)

日米関係、日中関係などを深く研究し、精力的に報道、講演活動が続ける。最近では「ロシアのウクライナ攻撃と国際政治の新たな局面」など、精力的に国際情勢の分析をし、発信し続けるジャーナリスト

近著(共著)「終わらない占領との決別・目を覚ませ日本」

参加費 500円

★新型コロナウイルスは、まだまだ感染が心配されています。

油断できません。十分気をつけて会館の指示に従いご参加ください。



堀之内駅前での宣伝

**11/21(月)**

**10:00~**

ロシアのウクライナ侵略反対  
改憲させない・9条守ろう

**11/19(土)**

**10:30~**

NO WAR 八王子アクション  
JR 八王子駅北口

**11/19(土)**

**14:00~**

戦争させない・9条壊すな  
19日行動  
衆議院第2議員会館前



### 10月例会報告

10月例会では、最初に東京新聞の東京ニュースとして発信した「[杉並区長に初当選した岸本聡子さんへのインタビュー 3の1](#)」のDVDを視聴しました。

欧州で長く活動をしてきた経験から日本の政治を変えなければとの思いをもって、区民と一緒に考え交流し、政策づくりをしながら選挙に臨んだ結果の当選。役所の人たちとも心を通わせながら政策実現のために行動中。

「主権者の意識を取り戻し、地方自治、民主主義を取り戻したい」と訴える岸本さん。

「選挙での公開討論会もなくなっていることが、政治離れを作っている。有権者に思いを伝えることが大切」と。

この体験を知り、自治体から変わることを実感した時間となりました。今後の議会の進み方も知りたいとの意見も。

後半では、多くのニュースで知られている国会議員や地方議員と統一協会との関係、行政に入り込んでゆがめられている現状などについて資料も提供も頂き、意見交換しました。議会を民主的に変えるためには市民運動が大切だと話されました。八王子市でも統一協会の影響がみられており、今後詳細を調べることにしました。(この件で八王子市議に原稿を依頼しましたので、裏面に掲載します。)

岸本聡子 東京新聞インタビュー

でネット検索してください。  
第1回~3回まであります。



先月の例会で話題になった八王子市と統一協会の関係について、八王子市議会で質問や意見書の提案説明などされた市議の望月さんに投稿をお願いします。

別所憲法9条の会のたよりに初めて投稿させていただきます。市議会議員の望月翔平です。

連日、統一協会や議員・行政とのかかわりについて報じられるとともに、責任逃れの答弁を繰り返す政権に怒りを感じています。私たちは地方行政と統一協会とのかかわりを追及するとともに深刻な被害を拡大させないために徹底した対応を求める決意です。



先日行われた市議会一般質問でも統一協会の問題について取り上げ市長や教育長に質しました。きっかけはある市民の方からの手紙です。中には多くの小学校で開設されている放課後子ども教室において『八王子CARP』という団体がボランティアとして参加し、運営団体と共催で企画を行っているとの告発が書かれていました。CARP（カープ）とは、昔でいう原理研究会のことで統一協会の学生組織として関わりが明らかになっています。早速、市に調査したところ今年度に入って2回実施され、延べ63名が参加していたことがわかりました。市は企画実施にあたって収集された個人情報勧誘に利用された事実はないとしています、実際に学校で行われた企画を通じてつながりをつくってしまったことは事実であり、大問題であると指摘しました。

学校だけでなく、保護者や子どもたちに対して八王子CARPがどういう団体なのか注意啓発を図るべきと求め、市は説明すると答えました。同時に教育長は『今後、八王子CARPの参加は認めない』と答弁しました。



一方で独自に調査を進めると、ほかにもつながりが明らかになりました。関連団体主催のイベントに市教育委員会が後援をしていたこと。市の広報誌に関連団体のイベント告知が掲載されていたこと。市民活動支援センターに関連団体が登録され、市施設の会議室を無料で利用できる資格が与えられていたこと、社会福祉協議会が統一協会から寄付を受けていたこと…です。

市に対しては、「明らかになったことは一部であり、他にもつながりがあるかもしれないため調査を実施すること。関係を絶つこと」も求めました。市長からは『今後は関係団体からの後援依頼などがあっても認めない。』関係を絶つということが明らかにされました。当然のことだと思いますが、社会福祉協議会は統一協会からの寄付について返金しないことも決定しています。この対応は市長答弁とも反するものであり、社会福祉協議会が受け取った寄付はどういう形であれ、反社会的な活動を通じて多くの被害者の人権を蹂躪し、生活を破壊したうえで捻出されたお金です。一部の自治会からは返金を強く求める声が寄せられており、私たちも返金は当然の判断であると思います。この点についても引き続き強く求めていきます。



岸田首相は『統一協会との関係を絶つ』と明らかにしていますが、本気の動きにはなっていません。八王子市議会で日本共産党の私が提案者となり、立憲や生活者ネットの議員と共同で意見書を提出しました。内容は統一協会など反社会的な組織との関係断絶や被害者救済、解散命令など宗教法人法に基づく断固とした対応を求めるものです。

しかし自民公明が反対討論も行わず反対し、否決してしまいました。八王子市だけでなく、他の議会でも同様の動きになっています。「反社会的な活動を行っている」と司法からも断罪されている団体から選挙で支援を受け議席を得ている国会議員や地方議員が次々と報道されています。また政策協定を結び、まさに統一協会から影響を受けている議員も見られ、こうした議員を許すわけにはいきません。

八王子市も残念ながら萩生田氏が市議時代を含め統一協会との関係が報じられるなど主な舞台となっています。他の野党とも協力しながら統一協会による被害を八王子市そして全国からなくしていく取り組みを進めます。市政を動かすべく、ともに頑張りましょう。

